

アジア科学技術コミュニティ形成戦略：機動的国際交流事業

1. 提案事業概要

【事業名】	西太平洋地区医学教育連盟代表者会議の主催
(英語名称)	Hosting Association for Medical Education in the Western Pacific Region Advisory Board Meeting
【提案者氏名、役職、 機関・部署名】	吉岡俊正 主任教授 東京女子医科大学 医学教育学
【事業形態】*	(1) 国際集会の開催 (2) 研究者の派遣・受入れ
【実施期間】†	2010年 8月 1日～2010年 8月 2日 ((2日)ヶ月間)
【実施場所】†	東京女子医科大学/東京大学
【参加国・地域】†	中国・韓国・シンガポール・フィリピン等 14ヶ国・地域:アジア・オセアニア
【事業概要】	<p>アジア・オセアニア地域の医療水準を高めるために医科大学認証評価基準を定め、さらに医師の備えるべき知識・技能・態度の国際水準を決定するための、西太平洋地区医学教育連盟各国代表者会議を開催する。</p> <p>西太平洋地区医学教育連盟 (Association for Medical Education in the Western Pacific Region, AMEWPR) は世界医学教育連盟 (World Federation for Medical Education, WFME) の傘下の5つの地区部会の一つで1988年に設立された。WFMEは2003年に医科大学評価のための国際水準 (WFMEグローバルスタンダード) 提案し、現在いくつかの国で医科大学の評価基準として批准されている。日本では大学評価は行われているが、医科大学の国際標準を採用するに至っていない。WFMEは更に2012年までに医師および医学研究者として卒前教育で達成すべき能力 (知識・技能・態度) の国際水準を策定するために、2010年から各地域部会と協働し作業に入る。AMEWPRはWFMEおよびWHOと連携を取りながら、東アジア・西太平洋地域の医学教育の質保障について活動してきた。現在加盟国は医科大学を持つ地域の14カ国 (オーストラリア、カンボジア、中国、フィジー、日本、大韓民国、ラオス、マレーシア、モンゴル、ニュージーランド、パプア・ニューギニア、フィリピン、シンガポール、ベトナム) である。AMEWPR会議は2000年から2009年までに議長国 (マレーシア、オーストラリア、中国、日本) が主催し8回開催された。WFMEの活動と連動して、地域の国際基準を決定することが喫緊の課題である。</p> <p>日本は2006年に議長国となり、2010年まで議長国を務める。2008年各国代表者会議を東京で開催した。WFMEグローバルスタンダードのアジア各国で適応することについて先進国と途上国の教育・社会・経済環境の違いを考慮に入れることを討議した。2009年にはパイロットとしてWFMEグローバルスタンダードを用いた医科大学外部評価をフィジーで行った。また会議結果はWHO西太平洋地域事務局に報告され地域の医療政策に反映されている。</p> <p>本事業により実施する2010年の会議では加盟国の医学教育代表者を再度招聘し、①WFMEグローバルスタンダードの批准、②医科大学評価パイロット実施結果に基づくWFMEグローバルスタンダードを用いた国際的医科大学認証評価実施法、③WFMEが策定する医師の備えるべき能力 (コンピタンス) 国際基準の地域特性検討、④AMEWPR組織の基盤強化の方策の検討、および⑤新会長選出を2日間の会議で行う。本会議は各国の医学教育の代表者で構成され、その結果は各国の医学教育・教育政策に還元される。医師の教育の国際的質保障として本会議で検討される国際基準はきわめて重要で、各国代表者が集まる本会議はアジア地域の医療・研究の規定要素である教育の発展と交流のネットワーク基盤となる。</p>